

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第7回 議事要旨

[日 時]

令和7年3月26日(水) 18時30分から20時10分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者] (敬称略)

委員長 杉崎 (学識経験者)
委員 江村(商店会)、関口(商店会)、本橋(町会)、河原田(学校)、佐藤(学校)、
須藤(区民)、前田(区民)
オブザーバー 荻原(専門調査員)
ゲスト 伊東(練馬区立美術館)、平田(株平田晃久建築設計事務所)、
花輪(株平田晃久建築設計事務所)、小田(西武鉄道株)、近藤(西武鉄道株)

[事務局]

地域文化部	大木
文化生涯学習課	渡辺
東部地域まちづくり課	藤本、松本、富本
美術館再整備まちづくり担当課	中山
美術館再整備担当課	稲永
光が丘図書館	澤田

[傍聴者] 1名

[議事次第]

1. 開会
2. 議題
 - (1) 美術のまち構想(たたき台)について
 - (2) 補助133号線沿線のまちづくりについて

[配布資料]

- ・資料1-1 美術のまち構想
- ・資料1-2 第6回検討会でいただいた提案、ご意見と美術のまち構想における対応
- ・資料2 中村橋駅周辺のまちづくり検討会の経緯と今後
- ・資料3 令和7年度アートマルシェについて

1. 開会

委員長	・本日は美術のまち構想について議論をする。
-----	-----------------------

2. 議題

美術のまち構想について（資料1 - 1、1 - 2）

事務局	<p>前回の検討会で構想の案をお見せしたが、正式な物を策定したので報告をする。内容的には前回の物と同じになる。</p> <p>資料1 - 1 美術のまち構想について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・P.2~3「はじめに」 美術館・図書館のリニューアルにともない、中村橋をアートなまちにするということで、まちづくりを進めていく。・P.4~5「構想における将来像」 アートを感じられるまちとして、将来像を3つ掲げている。 将来像1：まちのあちこちにアートなスポットがあふれている 将来像2：美術館・図書館を起点に新しい交流が生まれる 将来像3：アートを軸としたさまざまな活動がまちなかで行われている・P.6~7「将来像実現のプロセス」 掘る、植える、咲かせるという段階を経て、まちにアートの花を咲かせていくという概念を紹介している。・P.8~9「将来像1 まちのあちこちにアートなスポットがあふれている」 アート・コミュニケーション・コリドーを作りますという目標を掲げている。これは平田晃久建築設計事務所の監修でまちづくりの検討を進めている中で生まれたアイディア。 美術館、商店街、駅等を結ぶように、まちなかにアートを点在させることで、コリドー内を回遊できるようなまちにできればと考えている。・P.10~11「将来像2 美術館・図書館を起点に新しい交流が生まれる」 魅力的な建物ができるので、そこで様々な交流が生まれることを考えている。 建物の特徴であるシェードでの交流や、美術館・図書館のワークショップや地域と繋がるようなイベントを行うことができればと考えている。・P.12~13「将来像3 アートを軸としたさまざまな活動がまちなかで行われている」 アートスポットで、美術館の芸術だけでなく音楽やパフォーマンス等を行うことのできる場を作る取り組みを実施する。 現在、区が行っているアートマルシェについても、もっと拡大をしていき、まちと一体となったイベントとすることを考えている。P.14~15「中村橋駅周辺のこれまで&これから」 中村橋に美術館が出来て、新しい美術館へリニューアルを行い、今説明したような将来像に取り組んでいくことによって、中村橋のまちで今後もアートの花が咲き続けるというイメージをしている。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>資料 1 - 2 第 6 回検討会でいただいた提案、ご意見と美術のまち構想における対応について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術のまち構想を策定するにあたり、検討会委員からもらった意見を反映させている。 ・前回の検討会で構想の案をお見せした時に、まちなみ整備に関して様々な意見をもらったが、現時点ではまちなみ整備もまだ検討途中で具体的に決まっていない状況なので、その一つ一つに対して具体的な個別回答ができる状況ではない。 ・そのため、いただいた意見を将来像の中で実現していくために、このように考えているという方向性をまとめた資料になる。
委員長	<p>これは報告事項ということで、構想の一番後ろを見てもらおうと、令和 7 年 3 月と書かれているので、区はこれをそのまま公表するという事。</p> <p>検討会でもらった意見も考慮して、このような冊子にしたという報告。</p> <p>この冊子を踏まえて、来年度以降にまちなみ整備の実現のために動いていくということで、監修をされている平田晃久建築設計事務所からのご説明がある。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>今、説明のあった構想の中の 8~9 ページに載っているパース（イメージ図）を作成したり、まちのリサーチ等を行い、まちなみ整備の検討を行った。</p> <p>パースについては、中村橋の地域性や歴史等（例：貫井という地名、谷戸という特徴的な地形等）を掘り下げていき、提案に繋げていった。</p> <p>掘る、植える、咲かせるというコンセプトを示したが、「掘る」は地域の歴史を掘り下げていくリサーチやヒアリングを行った。</p> <p>「植える」は、掘るの作業で見つけた種となる事柄をまちに植えていく。例えば、まちなかにアートを設置できそうな場所を見つけ出して、そこにアートを設置してみたりする。</p> <p>「咲かせる」は、掘る、植えるの過程を受けて、アーティストに作品を作ってもらったり、まちに配置したりして、中村橋のまち全体がアートな雰囲気になるようにする。</p> <p>そういった 3 段階のプロセスを実施していくことを提案した。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>私は建築家だが、建築家がこのようなアートプロジェクトの監修をするという事はあまりない。</p> <p>建築家が建物を建てようとする場合、必ずその敷地の周辺について様々なリサーチをするが、このリサーチということは建築家としては馴染みのあることだと思う。</p> <p>また、建築というのは場所を作ることで、建築自体がアートになったり、アートな活動になり得るものもある。そのため、今回も建築的なアートというものを考えていきたいと思っている。</p> <p>アートのための場所をどうやって作っていくのかということもあり、新しい物を作っていくだけでなく、今ある物を最大限活かしていくという建築家的な視点も活かして計画していきたいと考えている。</p> <p>掘る、植える、咲かせるについても、掘るはリサーチに係る部分で、平田事</p>

	<p>務所の方でも中村橋について様々なリサーチをした資料を作成している。</p> <p>アーティストが決まってから、その人が初めからリサーチをし直すというのも時間が掛かってしまうし、そもそもそういったリサーチ自体に不慣れな人もいるため、このリサーチ資料をそのまま渡せば、前提を共有することができる。</p> <p>また、歴史と言っても、江戸時代や縄文時代のような遠い過去だけでなく、昭和だってまちの歴史だと思っている。</p> <p>そういった事も含めて、まずはベースを作るとというのが「掘る」だと思っている。</p> <p>「植える」は、具体的な場所を作っていくという作業。</p> <p>例えば、木が生えたとそこに鳥が巣を作ったりするような、そういった場所を作り出す、そこに建築的なアートを配置することを考えている。</p> <p>「咲かせる」は、もっとテンポラリーな、所謂ハレの状態を作っていくようなこと。</p> <p>例えば、それ程長い期間ではなく、1週間とか期間限定で華やかなイベント等を行ったり、パフォーマンスが起こったり、既に阿波踊り等も地域にはあるが、そういった既に今ある物も含めて、その時々で様々なことが起こっているということが「咲かせる」だと考えている。</p> <p>これからもっと具体的な検討を進めていくが、現段階では、このような大きな考え方を区に示して、それを基に具体的に進めていきたいと考えている。</p> <p>構想に載っているパースについても、今後、中村橋のまちがアートになっていくイメージで書いている。</p> <p>まだ、具体的なことが決まっていない状態なので、フワツとした抽象的な絵になっているが、ここにより具体的な事を入れていきたいと思っている。</p>
<p>平田晃久建築設計事務所</p>	<p>来年度も継続してまちなみ整備に携わっていくが、来年度はワークショップ等も開催する予定で、具体的な動きが始まっていくので、本日はこの場を借りて検討会委員にアドバイス等をもらえたらと考えている。</p> <p>来年度やっていく事として、ワークショップ、具体的なアートやアーティストの選定、アート設置場所の選定、敷地所有者や管理者との協議、アートデザインのまとめを考えている。</p> <p>本日特に意見を聞きたいのが、ワークショップのことで、現時点での予定だが、2回実施することを考えている。</p> <p>実際に練馬区に住んでいる人達が、こういった事に興味があるのかとか、こういう風を実施するといいいのではないかというようなアドバイスもほしいし、まち全体を巻き込んでいくような事ができればいいと考えているので、その辺りもご意見もらえればと思っている。</p> <p>ワークショップの内容についての意見、より多くの人に知ってもらうための周知方法、ニャンピータ市や阿波踊りのような既にあるイベントと何等かの関わりが持てるようなアイディア、レクチャーを呼ぶのか、実際に物を作る時のこと等、ざっくばらんにご意見いただきたい。</p>
<p>学校</p>	<p>PTAの立場から言うと、小学校の保護者達が一番気にしているのは、この美術</p>

	<p>館再整備事業は何年かかるのかということ。</p> <p>その間、図書館がなくなってしまうが、いつ図書館が再開されるのかということが全然分からない。3年間で聞いているが、本当に3年で終わるのか。</p> <p>工事期間中、代替施設は出来るのか、子供達が実際に本に触れて選ぶということが大切だと思うのだが、そういった事も構想の中に書いてもらえるといいと思う。</p> <p>保護者達からすると、図書館がなくなってしまうという事について不安を感じている。練馬の図書館も子供が行ける距離ではないので、中村橋でどこか代替施設が必要だと思う。</p> <p>近隣の学校5校くらいでアンケートを取ったのだが、すごく反響があり、そもそも図書館がなくなること自体を知らない人も多かったし、何とかしてほしいという声も多かった。</p> <p>なので、図書館のことが入っていれば、この構想についても自分事として感じられるのではないかと。</p> <p>構想の内容も、将来こうなるという夢の話は分かるのだが、実際に事業が進行している間の、建物を解体し建設している最中のことが書いていないため、やはり保護者としては不安を感じる。</p> <p>特に小学校の目の前で工事を行うので、狭い道に工事車両が通ることも不安を感じるし、もちろん夢のある話もいいのだが、その前に直近の工事期間中等のことも十分に説明をした方がいいと思う。</p> <p>また、昨今の建設費用の高騰に伴い、他の自治体でも事業が中止になる事例が出てきていて、練馬区も同じようなことになってしまうととても残念なのだが、そういった事も含めて地域住民の立場からすると全然見えてこないというのが正直な感想。</p>
事務局	<p>たしかに、将来的な話を中心としており、直近の工事中の話についてはパンフレット等は出していなかった。</p> <p>いつまで工事を続けるのかという事については、構想に書いてあるとおり令和11年度までを計画している。</p> <p>来年度から解体工事を始め、その後の令和8年度から新しい建物の工事に入って行くというスケジュール。</p> <p>解体から含めると、それなりの期間が美術館・図書館が今の場所ではなくなってしまう状況になるが、その間も美術館ではワークショップを開催したり、図書館も貸し出しの窓口を設けて事業継続はしていく。</p>
事務局	<p>中村橋区民センターが現在改装中なのだが、美術館の工事が始まる時には改装工事が完了しているため、そこで仮設の貸し出し窓口を設けて予約した本の貸し借りは出来る予定。</p> <p>ただ、これについては、まだ予定という段階なので、区民の皆さんにPRをするという事までは出来ていない。</p> <p>また、「ブックスタート」という事業もあるが、これも中村橋区民センターの中に場所を設けて継続していくことになっている。</p> <p>それと、子供達が実際に本を手にとることができる施設ということで、中村</p>

	<p>橋の近隣でどこか空きテナント等を探しているところだが、なかなか良い物件が見つからない状況。</p> <p>仮設とはいえ、実際に使うとなるとバリアフリーや耐震性のような安全面の課題等をクリアしないとイケなくて、なかなか厳しい条件の中で現在も探しているという状況。</p> <p>その他、近隣の学校とも連携のお願いをして、様々な協力の取り組みも検討している。そういったことも含めて、早い段階で近隣の皆様にお伝えできるようにしたいと考えているが、まだ具体的にいつお伝えできるのかは決まっていない状況。</p>
委員長	ブックスタート事業について、知らない人もいるかと思うので、説明をお願いしたい。
事務局	<p>簡単に言うと、練馬区で生まれた子供に対して、初めて触れる本ということで絵本をプレゼントしているという事業。</p> <p>これも中村橋の方は遠くまで取りに来てもらうのではなく、近くでお渡しできるようにするために中村橋区民センターで行う。</p>
委員長	将来の話もあるが、その間に子供達も大きくなっていってしまうので、直近の来年や再来年はどうなるのかという事は、親としては当然気になるところだろう。
平田晃久建築設計事務所	<p>建物自体は大きい物なので、どうしても時間が掛かってしまうのだが、まちづくりの中で規模の小さいものやテンポラリーなものは、工事期間中でも展開できると考えている。</p> <p>なので、工事中の3年間にも、いろいろな形で「植える」「咲かせる」を実現させていきたいと考えている。</p> <p>図書館の機能を代替するものではないが、子供達が本と触れ合ったり、本の世界や郷土の世界に触れたり感じられるような、そういった場所をアートとして作り上げていくことも取り組みの一つとして考えている。</p>
委員長	<p>何にせよ、工事中の期間にどういった事を行うのかということについては、地域に対してもっと丁寧に説明を尽くしていくべきだろう。</p> <p>イベント等でも気運を醸成していくことができるし、建物が出来上がる頃には、十分に地域も盛り上がっていて、リニューアルオープンを迎えるというのが理想だろう。</p>
事務局	<p>美術のまち構想とは別になるが、美術館・図書館の再整備を紹介するパンフレットを区の方で作成した。</p> <p>本日意見をもらったように、先の話については載せている。次の号でぜひ工事中の美術館と図書館の取り組みについても紹介をしていきたい。</p>
町会	<p>美術の森緑地が工事中にどうなるのかについても情報が少ない。</p> <p>近隣の子供達があれだけ楽しんでいる公園がどうなるのかということが、とても心配されている。</p>
事務局	美術の森緑地については、工事中は一部はどうしても工事スペースとして使用するが、子供をはじめとした地域の皆様に親しまれている場所なので、できるだけ残しながら工事を進めていく。

	<p>緑地の整備時には閉鎖になってしまう期間もあるが、長い工事期間中を通してずっと閉鎖ということはしない。</p> <p>動物モニュメントについても、できた当時は反対の声もあったが、出来上がってみると地域の皆様に親しまれる物になった。</p> <p>そのため、動物モニュメントも基本的には残し、一部はまちに移設を検討している物もある。</p>
町会	<p>アート設置場所について、中村橋駅周辺に結構空き店舗があるように思えるが、実際にはすぐに埋まってしまう。</p> <p>そのため、これから検討すると言っていると遅いのではないかと、実際にやろうとした時には良い場所がなくなってしまうのではないかと思う。</p> <p>以前の検討会でバス路線の改善の話になった時にも、バスの転回場の場所の確保について難航していたこともあるが、素早く場所を確保できるようにしないといけないと思う。</p>
事務局	<p>たしかに、駅前でも良い場所に空き店舗が出てすぐに埋まってしまう。</p> <p>良い場所が出たらすぐに確保したいという思いはあるが、役所だとどうしても予算という課題もあるが、速さという課題をどうするのかということは区の方で仕組みを考えていかないといけないと思う。</p>
委員長	<p>空き店舗がすぐに埋まるというのは、まちとしては良いことではあるが、区の課題としては、要するに予算をどう確保するのかということだろう。</p> <p>地域によっては借り手がなかなか見つからないから、1～2年間でも安くてもいいから役所に借りてほしいというような場所もあるが、中村橋の場合は役所に頼らなくても市場で物件が回るくらい活気がある。</p> <p>例えば、物件のオーナーが市場に貸すつもりがないが、役所だったら協力してもいいというような方がいれば、役所的にはやりやすいのだが。</p>
商店会	<p>アートの設置場所ということで、駅前広場や道路等は都や区が所有している土地なのでやりやすいのだろうが、例えば、土地の相続のタイミングなどで区に売ってもいいというような場所が駅周辺にも出てくる可能性もあるため、そういった場所を確保して何かアートな整備をするというのもいいだろう。</p> <p>土地が空いたら単にマンションを作ったりするのではなく、そういった活用をしていくのもいいと思う。</p>
委員長	<p>建設費が高騰しているので、今すぐには建てないで半年とか1年間くらい待っている状態だから、その間だったら区に貸してもいいという土地もあるかもしれない。</p> <p>そういった場所に期間限定で何か出してもいいと思う。</p>
商店会	<p>アーティストでも、自分一人では個展を開くことはできないような人も、まちの空き店舗をギャラリー的に発表できる場があればいい。</p>
委員長	<p>以前の検討会でもアーティストインレジデンスの話も出ていたので、そういったアーティストが住みながら活動できる場所を作るというのもありだろう。</p> <p>地域の方からも、こんな場所があるかどうかという情報をもらえれば、いろ</p>

	<p>いろな事に使えたりするだろう。</p> <p>おそらく、区の方でも今後ずっと借り続けるというよりは、暫定的に数年間借りるとい方が現実的だろう。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>以前にアーティストインレジデンスの話もあったが、何かこの地域ならではのもの等があれば参考にしていきたいと考えている。</p>
区民	<p>アーティストは隙間を見つけ出して使っていくということも仕事の一つなのだが、中村橋は都会で、シャッター商店街でもないの、今までの環境とは少し違うかもしれないが、チャレンジングなのでやってみたいという人はいるのではないかな。</p> <p>ワークショップについては、最近では結果重視の物が多いように感じるが、もっとプロセス重視にした方がいいと思う。</p> <p>アーティストからすると、技法を教えるとか、思考の断片を教えるとか、いろいろやり方はあると思う。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>プロセス重視というと、例えばどういったやり方が考えられるか。</p>
区民	<p>例えば、時間の長さも関係してくる。</p> <p>場所を味わうとか、その人を味わうということもある。</p> <p>丸一日取り組むだけでも、アーティストの思考を学ぶことはできると思う。</p> <p>それと、美術館が行っていた教育普及事業が非常に良いと思っていたので、工事期間中にそれが止まってしまうのは残念に思う。</p>
美術館	<p>教育普及事業は、工事中も積極的に取り組んでいく。</p> <p>むしろ今まで以上に充実させていき、出張プログラムも作り、区内のいろいろな所に出かけていきたい。</p>
委員長	<p>美術館がリニューアルするのだということの PR も一緒にできていいのではないかな。</p> <p>特に西武新宿線沿線や有楽町沿線の区民の方は、あまり中村橋に馴染みがない方もいるだろうから、そういった方にも出張プログラムというのはいいかもしれない。</p> <p>また、工事中も一時的に使えるような場所があるといいのだが、そういった事は難しいのだろうか。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>工事自体も見てほしいという思いはある。</p>
事務局	<p>区にはノウハウがないので工夫しながら、工事見学をやって面白いと思う。</p>
学校	<p>工事の仮囲いの一部を透明にして、外から中が見えるようにするというのも面白いと思う。</p>
学校	<p>商店街でニャンピータ市や阿波踊りをやる時に通行止めにしてやっているの、ワークショップでそういった地域のイベントとコラボするのもいいだろう。</p>
委員長	<p>空き店舗等がなくても、通行止め中の道路でワークショップを開催してもいい。</p>

学校	<p>そういったイベントがあると近隣の小学校の子供達も参加しやすいだろう。</p> <p>また、昨今の建設業界の担い手不足の解消のために、各所で子供向けの現場見学も盛んに行われたりしているので、美術館の工事でもできたらいいと思う。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>アートマルシェの時のアニマルパレードでも、ワークショップで自分で作った物を身に着けてパレードできるというのが、とても良いと思った。</p>
美術館	<p>事前のワークショップを何回か行って、その集大成としてアートマルシェ当日にパレードを行った。</p>
町会	<p>ワークショップについて、どういう事を行うのか、何をやっているのかがまちに伝わっていないように感じる。</p> <p>もっと広くまちに伝えて、浸透していくようにすることが必要だろう。</p> <p>ワークショップももっと伝えれば、やりたい人も多だろうし、アニマルパレードも何でパレードが突然始まったのか分かっていない人も多かったと思う。町会の方にもよく伝わっていなかったように思う。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>新しい美術館にシェルフといって、本だけでなく美術品や様々な活動が展示できる棚を作る予定なのだが、そういった所も活用して教育普及活動の発表の場としたりもできる。</p> <p>図書館に行ったついでにシェルフでの発表を見に行くということもできる。</p> <p>アートイベントの中にも、そういった場所を作った時に、他の場所でこういった事をやっているのか分かるような、情報ステーションになるような場所を作ってもいいのではないかと考えている。</p>
委員長	<p>建物のコンセプトを体感できるようなものがあったらいい。</p> <p>建物の中で、こんなアクティビティができるのだという体験ができたりするとか。</p>
平田晃久建築設計事務所	<p>棚というのが、見せる棚にもなる。</p> <p>それを見た人達で交流が生まれるような、棚を通したコミュニケーションが生まれると面白いのではないかと考えている。</p> <p>美術館の中だけでなく、まちの中にもミニシェルフ的な感じで、例えば子供達が作った作品が展示されているとか、そういったことが起きると面白いと思う。</p>
委員長	<p>例えば、駅の一部にも何か展示できるようなスペースを作るとかでも面白い。</p>
区民	<p>江戸東京博物館で改修工事を行った際に、仮囲いに昔の展示品を張り出して、これをどう思うかというような投げ掛けをしていた。</p> <p>それで、意見交換会をしていて、結構な人数が集まっていた。</p> <p>そういった事も面白いと思う。</p>
オブザーバー	<p>ワークショップを行う際に、美術館とはどう連携していくのか</p>
美術館	<p>美術館とまちのそれぞれがバラバラに動くということではなく、よくすり合わせて進めていきたい。</p>
オブザーバー	<p>構想(P.10~11)の方にも、人と人、人と地域が繋がる仕組みを作りますと書いてある。開館後の話だと思うのだが、整理していくプロセスの中で種にな</p>

	<p>ることを作っていく、場を作っていく。</p> <p>美術館の学芸員の中にもノウハウのある方がいるので、開館後も残していくためにも一緒にやっていかないのかと思った。</p>
美術館	<p>休館中の特別事業ということではなく、開館後も見据えて継続的にやっていくことは必要だろう。</p> <p>あとは、美術館ではまちの中に出ていく展覧会をやるということを考えているが、展覧会というと期間限定で、作品設置は短期間となるため比較的やりやすい。他方で、作品を恒久的に設置するとなると、いろいろと大変な事も多いのではないかと。アートを介したまちづくりという流れの中で、予めすり合わせた上で、まちなかの展覧会を充実させていきたいと考えている。</p>
オブザーバー	<p>そういったパブリックな暫定的な物というと、工事期間が長いので、ここは使えるこのスペースは使えるというような、いろいろな場所が順繰りに出てくる可能性があると思っている。</p> <p>場所の選定というが、あまりカチッと選定できないのではないかと。思う。</p> <p>そういった意味で、この工事中の期間は実験的にまちの見え方が変わっていくということを実感してもらうために、暫定的な物を整備していくという方法がいいのではないかと、それが前回の検討会で言ったコリドーのプロジェクト化したらどうかという意見。</p> <p>開館までのプロセスを作って使えるのだから、その間、まちの空間がいろいろと顔が変わると思うので、ここで作りますではなく、先ほどアーティストは隙間を見つけるという話もあったが、その隙間を見つけながら、プロジェクトを重ねていき、ここが使える可能性があるとか、ここは一定期間だったら使えるとか、子供と使えるとか柔軟にしていけるといいのではないかと。</p>
委員長	<p>場所の話は出たが、その他にも地域のプレイヤーの方もこんな人材がいるとか、そういった紹介をしてもらえればと思う。</p>
学校	<p>商店街の街路灯にフラッグが掛かっているが、オリンピックの時にはオリンピック仕様になっていたし、ハリーポッターの時はその仕様になっていた。</p> <p>以前、小学校の児童が描いた絵をそのままフラッグとして下げていた時期もあり、その時はすごく楽しい感じだったし、視覚的にも分かり易くていい。</p> <p>フラッグだけではなく、駅にも何かそういった装飾を施してもいいと思う。</p>
委員長	<p>商店街のフラッグは、結構アート系のイベントで使ったりして、今は使えるインフラの一つになっていると思う。</p>
商店会	<p>以前の時は、フラッグに直に書いていたが、今は画用紙等にした物をスキャンして制作することも容易だろう。</p> <p>直接描くというのも楽しいだろうから、それをワークショップでやってもいいと思う。そうすれば、親御さんも見に来たりしていいかもしれない。</p>
委員長	<p>西武鉄道としても、駅のある場所に平田さんの建物ができるというのは、一つの大きな目玉になることだと思うので、当然何かやるつもりなのだろう。</p>
事務局	<p>今、西武鉄道とは一緒に協力してやっていこうということで、いろいろと協議をさせてもらっているところ。</p>

学校	<p>来年度に練馬第三小学校が50周年を迎える。</p> <p>節目の年になるため、何か記念事業もやると思うのだが、コラボできるのかどうかは分からないが、そういったネタもあるということをお伝えしておく。</p> <p>50周年は学校的にも結構大きな節目だし、練馬第三小学校は50年前に学校を作った当時にも、かなりデザイン等も考えて作っているということもある。</p>
区民	<p>練馬の区民展について、工事中はどう続けていくのかということをお心配している人も多い。</p> <p>なかなか区からもハッキリとした回答が得られていない状況なのだが、ぜひ早めに決めてもらい、このような形で続けていくのだということが分かると安心する人は多いと思う。</p> <p>また、アートマルシェも、小さい子も楽しめるイベントなので、今後もぜひ継続して行ってほしいと思う。</p>
委員長	<p>本日の話の中でも何度か出てきた意見だが、新しい美術館・図書館に期待はしているものの、工事中に今までの事業等がどうなるのか、続くのかと不安を感じている人も多い。</p> <p>区はそういった部分も丁寧に伝えていけば、皆が安心できる。</p>

中村橋駅周辺まちづくり検討会の経緯と今後について（資料2）

事務局	<p>今まで検討会で話あった内容を簡単にまとめた資料になる。</p> <p>本日は話をしたような美術のまちに関する事と、もう一つで所謂一般的なまちづくりである「安全」とか「住みやすさ」のような課題について考えていくようなことを検討会で話し合ってきた。</p> <p>「バス交通の改善」「中杉通りの無電柱化」「補助133号線開通後の千川通り南の在り方」について議論をしてきた。</p> <p>この辺りについて、検討会でも一定程度の議論ができたので、来年度からはコンサルを入れて更に深掘りした検討を進めて、「駅周辺まちづくり構想」として令和8年度以降に策定していく予定。</p> <p>検討会については、定期的な集まりという事に関しては一旦今回で区切りという事にするが、検討会自体は解散という訳ではないので、何等かの形で委員の皆さんの意見を伺いながら進めていきたいと考えている。</p> <p>また、来年度はワークショップも行うため、より広く意見を伺う機会を設けていく。</p>
委員長	<p>構想がまとまる前には、また地域の皆さんに報告は入れるようになるだろう。</p>

令和7年度アートマルシェについて（資料3）

事務局	<p>令和7年度のアートマルシェについて説明する。</p> <p>まだ詳細については検討中のため、現時点での状況報告をする</p> <p>開催日時は、令和7年9月13日(土)、14日(日)10:00～15:00 予定</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>開催場所は、美術の森緑地、美術館、周辺の商店街</p> <p>開催内容は、地域の方々の出店、美術館・図書館再整備の広報ブース、展覧会事業とパフォーマンス事業(美術館イベント)、リサイクル本頒布会と読み聞かせ(図書館イベント)、子供向けワークショップを予定している。</p> <p>現在、上記イベントについて検討、調整、準備を進めている。</p> <p>地域の方々の出店についても、現在、声掛け、調整をしている。</p> <p>昨年9月に出ていただいた方には声掛けをしており、加えて今後は地域に定着したイベントとなるために、より拡大していきたいと思っているので、前に出ていただいた方以外でも新しい方やイベント等も検討している。</p>
委員長	<p>地域でやりたいという人がいれば、ぜひ紹介をしていただければと思う。</p> <p>今までにない形でも、例えばクラフト系で何か自分で作った物を売りたいとか、そういった方向でもいいかと思う。</p>
事務局	<p>そういった事も積極的に提案していただければ、区でも検討をしていきたいと思っている。</p>

以上